

## 2025年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(8件)

## 1.木や紙の風合いを保ちながら不燃化させる技術

株式会社アサノ不燃(江東区)



木材にホウ酸などを用いた「セルフネン液」を特殊技術により含浸。木材の風合いはそのままに、延焼せず、有毒ガスを出さないという「燃えない」木材を開発。木塗り壁、和紙、繊維なども独自の技術で不燃化し、建築材の新たな可能性を切り開いている企業。

## 2.精密金型メーカーが誇る高精度なバイオプラスチック射出成形技術

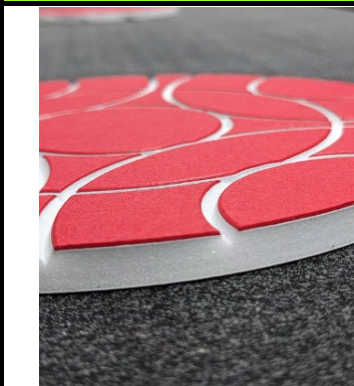
日進精機株式会社(大田区)



ポリ乳酸(PLA)プラスチックは、「乳酸菌(ラクトバシラス)+でんぷん」から作られた植物由来の生分解性樹脂である。すでに開発済みのバイオプラスチックグラスでは、コンポストでは約3ヶ月、土では約5年、海では約10年で水とCO2に分解される特性を持つ。

## 3.デジタルの精度と手仕事の技量が共存する加工・生産体制

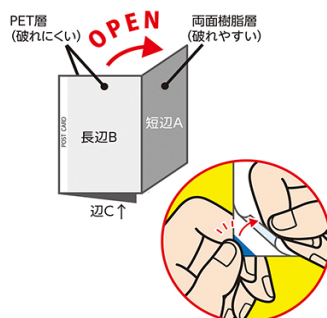
株式会社サルトル(新宿区)



加工技術の高度化だけでなく、伝統的な手仕事の継承や職人育成にも力を入れている。また、素材の源流である林業や産地と連携し、素材を無駄なく活かす設計・加工・生産体制の構築を目指している。

## 4.個別化された情報を正確安全に届けられる、印字とフィルム圧着書面

昭和印刷株式会社(江戸川区)



自社システム開発とデータ印字技術・オフセット印刷技術等すべてが融合した事業で、郵便法に則った「フィルム圧着葉書型資格確認書」を実用化。他の用途としても活用を希望している。近年、新規事業へ投資するなど新しい取組みに挑戦していきたいとの意欲を持つ企業。

## 2025年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(8件)

## 5.食品衛生法クリア・アレルゲンフリーの光造形3Dプリンタ用レジン

Expert Material Laboratories株式会社(新宿区)



液体樹脂(レジン)に光(紫外線)を当てて薄い板を積み重ねて立体を造形する「光造形3Dプリンタ」に使用する素材。食品衛生法に適合し、アレルゲンフリーかつ水と台所用洗剤だけで安全に洗えてその廃液も水道に流せる特徴を持つ。

## 6.多様化・複雑化する紙の表現に対応するワンストップ印刷製造技術

株式会社スバルグラフィック(中野区)



企画・デザイン・プリプレス・加工・仕分け・梱包・発送までを一貫して手がけるトータルソリューション企業。創業以来、製版技術と色補正が強みで、視覚と触覚の両面に訴える“触れる印刷物”を生み出せる体制を整えている。

## 7. 電源不要、トップクラス性能の高輝度蓄光素材

株式会社humorous(目黒区)



本蓄光技術は従来のもものより強く、長く発光する。電気代、メンテナンス、電気工事が全て不要で半永久的に使える点が特徴。蓄光という基礎技術に新たな文脈を与える新しいクリエイティブを求めている。

## 8.多品種の金属表面に豊かなCMF表現をもたらす特許技術

株式会社フロント(新宿区)



各種金属部材に、塗料あるいは薬剤で生成した色層を研磨することにより、さまざまな新しい仕上表情の創造が可能。各種メッキ鋼板、耐候性鋼板、ステンレス、アルミ、銅、真鍮、チタンなど、どの金属でも適用。内装材はもちろん、外装材としても幅広く使える可能性を持つ。

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードのオフィシャルサイトをご覧ください。

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/award.html>